【令和３年度　春の企画展】４月２３日(金)～６月６日(日)

「新収蔵資料展」

勝海舟掛軸・鶴見祐輔扁額 利恵刀自百歳祝硯箱　他

昨年の春は、新型コロナ蔓延による休館措置等があり、残念ながら「新収蔵資料展」を実施できませんでしたが、今年は万全の態勢で、2年ぶりに実施することにしました。魅力ある新収蔵品を一挙公開。お見逃しなく！

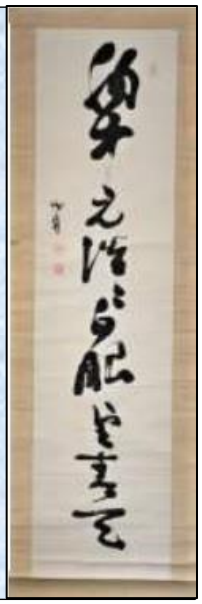
令和3年度　春の企画展

新収蔵資料展

【併催】シリーズ後藤新平人脈考④「池田宏」

開催期間　令和3年4月23日(金)～6月6日(日)

【勝海舟揮毫掛軸】



胸才之を催(す)に　白眼もて青天を望む

杜甫「飲中八仙歌」より

【解釈】

内なる声にせき立てられながらも、世には白眼を向け青空をながめる

（晋の阮籍が気に入らない客に対しては白眼で、親友には青眼で応対したという故事による。）

【後藤新平揮毫掛軸】

有精神之謂富

【解釈】

明治二十一年　麦秋（五月下旬～六月上旬）

石原君に贈りますので叱正下さい

生き生きと活力あること、これを「富」と謂(い)う

【対句】有廉恥之謂貴

（我欲がなく悪事を恥じる心、これを「貴」と謂う）

【鶴見祐輔揮毫扁額】

愛国　祐輔

【寄贈者の所蔵経緯】

扁額は、岩手県下で村長を務めた寄贈者の祖父が、衆議院議員時代の鶴見を自宅に招いた際に揮毫したものと伝わる。

【利恵刀自百歳祝硯箱】

寿いほふ

春のめでたさ

百才

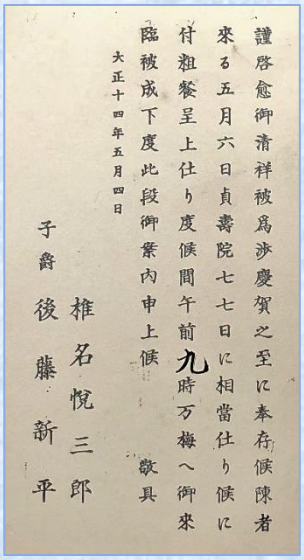
利恵

新平の母利恵は、数え99歳で逝去している。この硯箱は、間もなく百歳を迎えるお祝いとして配るために準備していたものか・・・。この他にも、利恵愛用の繊細な装飾が施された文鎮やベルベットの小物入れ等。

【放送台本(全５回)】

昭和45年 NHKテレビ放送「大風呂敷」の放送原稿。新平：寺尾聰、妻：大原麗子、司馬凌海：宇野重吉、語り手：小沢昭一。何と豪華なスタッフか！見られるものならぜひ見てみたい作品です。

【貞壽院法要通知】



謹啓愈御清祥被爲渉慶賀之至に奉存候陳者來る五月六日貞壽院七七日に相當仕り候に付粗餐呈上仕り度候間午前九時万梅へ御來臨被成下度此段御案内申上候　敬具

大正十四年五月四日

椎名悦三郎

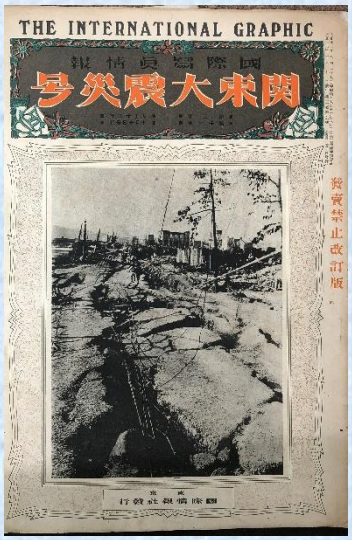
子爵後藤新平

姉初勢(大正十四年三月没)

七七日法要

子爵後藤新平、椎名悦三郎連名

【冊子「国際写真情報」】



一九二二年東京国際情報社設立。グラフ雑誌は、関東大震災後に続々と刊行。後藤の活動が写真と共に紹介されている。

【その他の主な展示資料】

- 田村順之助宛　後藤新平書翰　掛軸
- 後藤新平　掛軸・扁額
- 天真院法要の品送付状
- 後藤春子書翰・葉書
- 鶴見愛子　書翰
- 鶴見俊輔　葉書
- 鶴見祐輔選挙応援依頼
- 安場保國追悼記「直心」
- ドイツ製カメラ「コンテッサ・ネッテル」
- ガラス乾板

併催《シリーズ後藤新平人脈考⑤》「池田宏」は5月号で紹介します。